体協 フェアプレイニュース
2018年2月26日号
Vol.93

フェアプレイで日本を元気に
あくしゅ、あいさつ、ありがとう

FAIRPLAYSTORY フェアプレイストーリー

憧れの人との約束が力に

堂々ちゃんからのひとこと

地道な努力が夢をかなえるんだね!

密着!アスリートファイル #06
[バスケットボール]
(川崎ブレイブサンダース)
篠山竜青選手

仲間を思う気持ちがチームの勝利につながる

夢を現実に

「バスケットボールでご飯を食べていく」。小学校の卒業文集に書いた夢を追い続けてきた篠山竜青選手は今、プロチームのキャプテンとして大活躍。昨年のBリーグファイナルで、夢がかなったことを強く実感したそうです。「1万人を超える観客、憧れの選手との対戦。ずっと思い描いてきた以上の舞台でプレーできたことは、バスケ人生の中で一番の思い出です」。

バスケの魅力

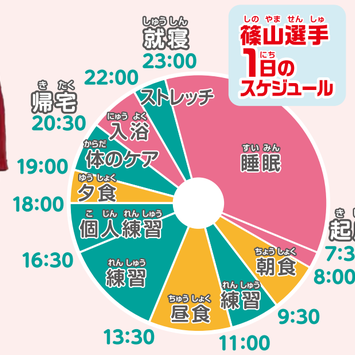
Bリーグ創設でますます盛り上がるバスケットボール。篠山選手はその魅力を「大柄な選手たちが飛んで走って体をぶつけ合う迫力」と言う一方で「小柄な選手の素早い動きや、巧みなドリブルも見どころ」と語ります。(篠山選手が教える上手なドリブルのコツは、下図ワンポイントレッスンへ)

また、室内で行われるバスケットボールならではのポイントも。「選手と観客席の距離が近いので、その迫力を間近で味わえます。ぜひ見に来てほしいですね」。

努力の積み重ね

篠山選手は高校時代の恩師の言葉「日々努力」を座右の銘にしています。「試合でいいプレーをするには、地道できつい練習をどれだけ積み重ねられるかが大切」と考えているから。辛い時こそもう一歩。その頑張りが、今日の自分につながっていると言います。

「生活面においても、高いパフォーマンスを維持するために、8時間睡眠や入念なストレッチを心掛けています」。



仲間に感謝を

「チームメートのアシストには必ず感謝を伝えますし、激しいプレーで倒れた仲間には必ず手を差し伸べます」。篠山選手は、思いやりの気持ちがチームにいい影響を与え勝利につながると考えています。

「ありがとうを伝えることは、人としてとても大切です。素直に言えると気持ちがいいし、言われると次も何かしてあげたいと思う。思いを伝える言動は、スポーツや日々の生活を楽しくする秘訣です」と教えてくれました。

ワンポイントレッスン ドリブルがうまくなる手の使い方

フェアプレイ宣言とフェアプレイニュースの紙面は日本体育協会のキャンペーンホームページからどうぞ。 ウェブで フェアプレイ 検索

フェアプレイキャンペーンTOPページ
▶ フェアプレイニュース で見たいニュースをみつけてね。
▶ フェアプレイ宣言 「宣言する」をクリックしてね。

スポーツくじ toto BIG

フェアプレイニュース 第93号 (2月26日)
平成30年2月26日発行
(次回は3月12日発行の予定です。)
企画:公益財団法人 日本体育協会
http://www.japan-sports.or.jp/
監修:時事通信社
〒104-8178 東京都中央区銀座5丁目15番8号 電話03(3524)6944
公益財団法人 日本体育協会